

課題解決力の向上



ミニマムスタンダードを一層深化させ、持続可能な営業活動を確立

当金庫では昨年度、営業担当者の行動を体系化・標準化した、全店舗で共通する「ミニマムスタンダード（行動様式）※」を取り入れました。法人担当者を対象とした「G's ロールプレイングコンテスト 2026」では営業プロセスのうち最も重要な仮説ニーズを立てる事前準備と、経営者との対話で潜在ニーズをヒアリングするプロセスを重視し、法人先へのソリューション提案力の底上げを目的としました。営業プロセスの共通パターンを言語化・体系化し、行動様式を定着させることで持続可能な営業活動を確立し、お客さまからの信頼につなげていきます。

※再現性の高い法人先・個人先へのアプローチ方法（プロセス）を身につけ行動様式によってPDCAを回す。



お客さまとの“対話”から一歩踏み込んだ課題解決へ



G's ロールプレイングコンテスト 2026

入賞者 座談会

お客さまとの面談時に大切にしていることを教えてください。

佐藤 お客さまごとに課題や背景が異なるため、まずはしっかり話を伺って本音を引き出し、潜在的な課題を理解することを重視しています。提案ありきではなく、対話を通じて信頼関係を築くことを意識しています。

井内 私が営業活動の中で意識していることは、お客さまの御用聞きではなく、相談相手になることです。事前の情報収集と分析で、お客さまの課題を推測し、事前段階で考えられる仮説を持ってヒアリングに臨むようにしています。お客さまと一緒に潜在課題の抽出や課題解決を図っていくことで、信頼関係の構築に繋がると感じています。

高杉 私もお客さまとの関係を深めることに重点を置いています。長時間にわたってお客さまと対話を重ねることは、一見すると時間の浪費に思えるかもしれませんが、その対話の中でお客さまの経歴や今後の経営戦略について知ることができ、お客さまの潜在的ニーズの発見につながります。

「G's ロールプレイングコンテスト 2026 (以下、ロープレ)」での学びや気付きを、どのように実践していますか。

佐藤 今回のロープレを通じて、課題を整理しながらお客さまに伴走する重要性を学びました。今後も資金面だけでなく、経営課題や将来像まで踏み込んだ提案を意識したいです。

井内 ロープレに取り組んだことで、自分自身で導き出した課題と解決方法を同僚や上司に相談することにより、課題解決への選択肢が増えると感じました。まだまだ知識不足の部分が多いため、相談することで得た選択肢をお客さまと共有することにより、お客さまにとってより最適な提案ができるよう取り組んでいきます。

高杉 ロープレの構成としては、事前にお客さまの情報をストックした上で、潜在的・顕在的課題に対しアプローチを行うという流れでした。実際の面談時でも、ミニマムスタンダードに則り、対話から得た情報をふまえた複合提案を行い、お客さまに納得感を持って取り組んでいただけるよう心掛けています。



2026 Disclosure CONTENTS

ごあいさつ	1
ぎふしんのサステナビリティ	
特集 課題解決力の向上	2
10年後ビジョン 私たちが創る未来	4
人的資本価値の最大化	6
環境負荷低減への対応	8
SDGsへの取り組み	11
ぎふしんの社会貢献活動の取り組み	12
高付加価値営業の実践	14
経営管理・リスク管理	18
非財務ハイライト	21

2025年度事業の概況

2025年度事業の概況について(単体)	
損益の状況について/預金について/貸出金について	22
有価証券について/自己資本比率について/金融再生法に基づく開示債権について	23
貸借対照表/損益計算書/剰余金処分計算書	24

ぎふしんについて

組織	25
総代会	26

店舗について

店舗のご案内	28
--------	----

10年後ビジョン

私たちが創る未来

当金庫は、職員の声をもとに「10 年後ビジョン」を策定しました。

我々の原点である経営理念の実現を目指し、お客さま・地域・役職員・金庫が

これまで以上に互いの「つながり」を深め、

持続的に成長するために、我々は進化し続けていきます。

経営理念

■ 地域社会繁栄へのご奉仕

■ 地元中小企業の健全な発展のサポート

■ 豊かな家庭生活実現のお手伝い

10年後にありたい姿

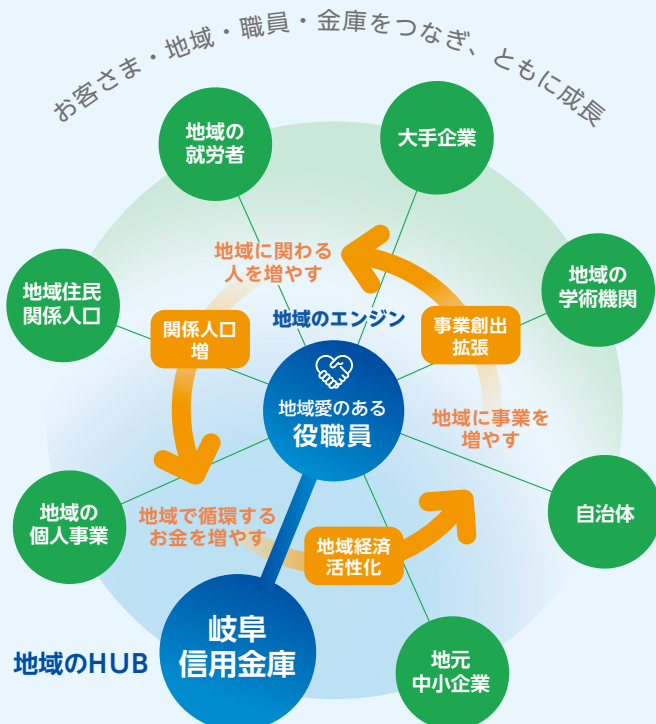
10年後
ビジョン

人と人の「つながり」で、素晴らしい明日をつくる

- 地域とのつながりを強固なものとし、地域のために、「地域愛」を原動力に地域のエンジンとして、力を発揮します。
- 地域で絶対的な存在感のある金融機関として、お客さまの笑顔のために、役職員が自律して光り輝き、お客さま・地域に直向きに貢献します。
- 風通しのよい組織風土を醸成し、お客さま・地域に一番近いところにいる職員の声を大切にします。

目指すお客さま・地域との関係
存在感があり、信頼され、親しまれ、愛される

目指す職員の在り方
親切・丁寧で何でもタイムリーに相談ができる



経営理念の実現に向けたストーリー

短期・中長期の目標達成に向けた事業活動を通じて、PDCA サイクルをまわし、企業価値向上に取り組んでいます。



若手本部職員が語る「未来に向けての想い」

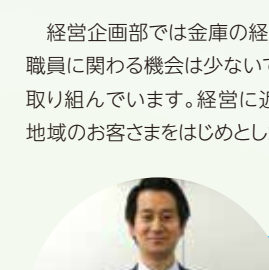
Interview

「10 年後ビジョン」は、地域とともに生きる私たちが、これから何を大切にし、何に挑戦していくのかという意思表示であり、役職員一人ひとりの行動によって、はじめて実現されるものです。現在の職務を通じて未来に向けて何ができるか、当金庫の将来を担う若手本部職員にインタビューを行いました。



地方創生部 森川 諒平

現在働いているG's Dreamは、オープンから1年が経過し、当金庫と地域の方々、学生、事業者との「つながり」が創出されています。自分が企画したイベントやセミナーを通じて、ビジネスマッチングや創業など、新たな一歩を踏み出すお手伝いができた際は、大きなやりがいを感じています。今後もG's Dreamで金融機関の枠を超えた「新たな価値」を提供し、多様な視点から地域課題の解決や若者・事業者の成長、挑戦に貢献していきたいと考えています。また、地域の皆さまの「夢」を形にするサポートに携わることで、地方創生と持続可能な地域社会の実現につなげていきます。



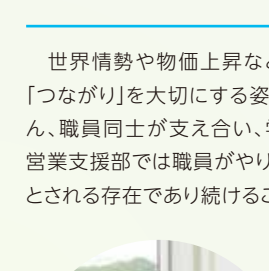
経営企画部 渡辺 貴斗

経営企画部では金庫の経営に関する方針や経営計画等の立案、策定をしています。直接的にお客さまや営業店の職員に関わる機会は少ないですが、日々の業務がお客さまや職員の未来につながっていることを第一に考え、業務に取り組んでいます。経営に近い部署であるからこそできる業務がたくさんあると思います。長期的な目線に立ち、地域のお客さまをはじめとした当金庫に関わる全ての方々の更なる発展につながるよう尽力していきます。



ソリューション営業部 石原 樹

人口減少や経営環境の変化が進む中、地域企業の皆さまが安心して次世代へ事業をつないでいけるよう、事業承継支援を通じてお客さまに寄り添っていきます。これまで長年築いてこられた事業や経営者さまの想い、従業員の皆さま、地域との「つながり」を大切にしながら、それぞれの地域企業の将来像に合った形と一緒に考えていきたいと思っています。日々の対話を大切に気軽に相談できる存在を目指し、地域企業の未来に寄り添いながら、地域経済の発展、次世代へ地域の力をつないでいけるよう貢献していきます。



営業支援部 杉本 百花

世界情勢や物価上昇など大きく動き続ける世の中において、金融機関には変化に対応する力と、人と人の「つながり」を大切にする姿勢がこれまで以上に求められると考えます。お客さまとの信頼関係の構築はもちろん、職員同士が支え合い、学び合う関係づくりが能力の向上につながり、頼られる存在となることができそうです。営業支援部では職員がやりがいを感じられる環境づくりと日々の業務のサポートを通して、当金庫が地域に必要なとされる存在であり続けることに貢献できるよう努めていきます。



広報サステナビリティ統括部 山元 佑果

広報サステナビリティ統括部では、当金庫における持続可能な地域社会の実現に向けた各部店の取り組みを統括するとともに、その成果や想いを届けることで、地域全体のさらなる発展と価値向上につながるよう取り組んでいます。今後は、当金庫のみならず、お客さまの取り組みにも着目し、情報発信を通じた新たな価値創出につなげていきたいと思っています。また、お客さまとの「つながり」を深めながら、必要とされ続ける金融機関として、地域とともに持続的に成長できるよう努めていきます。

人的資本価値の最大化

当金庫は、職員のウェルビーイングと専門性・多様性のある人材基盤の実現を目指し、職員一人ひとりが働きがいを感じながら生き活きと働くことができる環境整備と、自律的なキャリア形成に取り組んでいます。



ビジョン・ミーティング

理事長と職員が直接意見交換できる新しい取り組みとして「ビジョン・ミーティング」を開催。職員と金庫の互いの尊重による人的資本価値の最大化に向け、職員からの建設的な意見を反映させた施策立案に取り組んでいます。

「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」認定取得

健康経営優良法人認定制度は、職員の健康管理や健康増進の取り組みについて特に優良と認められる法人を認定する制度であり、3年連続での取得となりました。今後も職員のさらなる心身の健康促進に取り組んでいきます。



岐阜県内金融機関初「プラチナくるみん」認定取得

厚生労働省が実施する次世代育成支援対策推進法に基づく「プラチナくるみん」を、2026年3月3日付で認定取得しました。「プラチナくるみん」は、仕事と子育ての両立支援に積極的な企業を公式に認定する「くるみん」の上位認定版であり、岐阜県下で9社目、県内金融機関では初となります。今後も職員一人ひとりが安心して働き続けられる組織づくりを進めていきます。



研修体系

「主体的に学び、お客さまのために考動する自律した人材の育成」を目的に、階層・職種に応じた研修を行っています。

	階層別研修	職種別研修	ダイバーシティ・インクルージョン
	ラインナップ	ラインナップ	ラインナップ
管理監督職	・マネジメント研修 ・リーダーシップ研修 ・人事考課者訓練 ・リスクマネジメント研修等	役席向け ・管理職研修 ・新任管理職研修 ・実務力向上講座 ・現場トレーニー研修等	・キャリアデザイン研修 ・キャリアパスセミナー ・中途採用育成プログラム ・中途採用者フォロー研修
管理職		代理向け ・営業力向上研修 ・新任初級管理者実務研修 ・管理職養成実務講座 ・融資実務力向上研修 ・ソリューション力向上研修 ・資産形成支援力向上研修等	・育休者セミナー ・ないすらいふセミナー ・サステナブル研修等
初級管理職		営業職員向け ・営業担当者研修 ・新任営業担当者研修 ・融資業務研修 ・ソリューション業務研修 ・資産形成支援業務研修 ・オンライン実務講座等	・FP1級スクール・宅建スクール ・社会保険労務士対策講座 ・法務財務対策講座
一般職員	・新入職員基礎研修 ・新入職員実務研修 ・新入職員フォロー研修 ・キャリアフォロー研修等	お客さまサービス担当向け ・お客さまサービス担当者研修 ・オンライン実務講座等	外部派遣研修 ラインナップ 経営戦略 ・中小企業大学校 ・滋賀大学 大学院 (データサイエンス) 中小企業支援 ・(独) 日本貿易振興機構 (JETRO) ・(株) 日本M&Aセンター ・(公財) 岐阜県産業経済振興センター ・岐阜県中小企業活性化協議会 ・山田コンサルティンググループ (株) リテール支援 ・辻・本郷税理士法人 市場運用 ・アモーヴァアセットマネジメント (株) ・信金中央金庫 官民連携 ・中部経済産業局 ・環境省 海外派遣研修 ・タイ、ベトナム、シンガポール

外部派遣研修

お客さまの課題解決に向けて、専門性の高いスキル・深い知見を身に付けることを目的とした外部派遣を行っています。



人事部
黒川 大智 | 滋賀大学 大学院

滋賀大学 大学院で学んだデータサイエンスの知見と、今まで現場で培った経験則を融合させ、人事領域におけるエビデンスベースの戦略を牽引します。育成プロセスやエンゲージメントなどのまだ有効活用できていない定量データから次世代の人財戦略を打ち出し、当金庫の持続的な成長と価値創造に貢献していきます。



市場国際部
中村 美穂 | (独) 日本貿易振興機構 (JETRO)

私はジェットロへの出向を通じて、海外展開では十分な市場調査や商談準備が成果につながる、また多様な業種が海外市場へ挑戦していることを実感しました。今後は、出向中に得た知見や支援ノウハウを職員に還元し、お取引先企業様の課題やニーズに寄り添いながら、海外展開に向けた挑戦を後押ししていきます。



ソリューション営業部
小林 未来 | 辻・本郷税理士法人

辻・本郷税理士法人への出向で、相続税業務を中心に申告までの流れや財産評価、関連税務知識を学びました。また、お客さまごとに状況が異なる中で、正確性やスピード感ある対応の重要性を実感しました。今後は、出向で培った相続支援スキルを活かし、相続ソリューションの担当者として営業店と連携し、お客さまの課題解決に向けた質の高いサービスを提供していきます。

公的資格取得に向けた支援

各職員のスキルアップを支援する取り組みとして、資格対策講座の開催、取得手当等の制度を整え、多くの職員が専門知識を高めるため、資格取得にチャレンジしています。

公的資格試験等合格者数 (2026年3月31日現在)

中小企業診断士	19	1級ファイナンシャルプランニング技能士	83	社会保険労務士	4
証券アナリスト	4	宅地建物取引士	131	ITパスポート	307

環境負荷低減への対応

当金庫は、2022年9月「脱炭素化へ向けた取組み方針」を公表し、気候変動対応や脱炭素経営を推進しています。

また、金融・ソリューション機能の充実を通じて、地域社会やお取引先企業様の環境負荷低減に貢献していきます。



01 脱炭素化へ向けた取組み方針

当金庫は、地球温暖化対策として脱炭素化への取組みを実践するとともに、脱炭素化やサステナブルな経営を目指す地域社会・お取引先企業様を支援し、持続可能な社会の実現に貢献します。

CO₂ 排出量の削減

目標 2030年度までに2013年度比50%以上削減

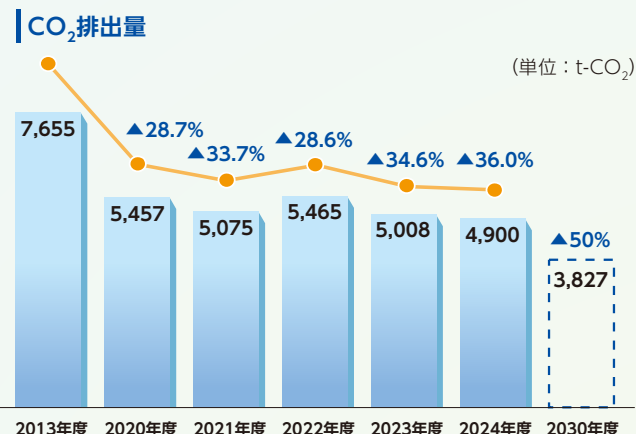
実績 2024年度の排出量は4,900t-CO₂となり、2013年度比で▲36.0%となりました。

CO₂排出量の削減に向けた取組み

- 5店舗の空調設備更新を実施 ▶ 電気・重油使用料を削減
- 35店舗の照明のLED化を実施 ▶ 電気使用量を削減
- ハイブリット車7台を導入 ▶ ガソリン使用量を削減

脱炭素化へ向けた幅広い取組み

- リサイクル・リユース強化のための業務フローを確立



サステナブルファイナンス

目標 2030年度までに5,000億円
うち環境分野関連2,500億円

実績 2025年度までに累計実行金額は3,774億円、うち環境分野関連1,172億円となりました。

サステナブルファイナンスによる資金支援

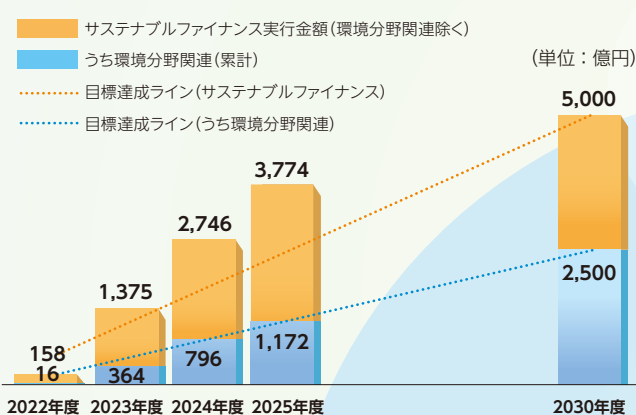
「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)」、
「サステナビリティ・リンク・ローン(SLL)」への対応強化

2025年度／PIF実行件数28件、SLL実行件数1件

脱炭素コンサルティングサービスの提供

- 業務提携先のe-dashによるCO₂排出量の見える化
- SBT認定の取得支援
- 社外に見えるCO₂排出量の削減目標設定
- 環境関連補助金活用の支援

サステナブルファイナンス実行実績推移



02 脱炭素化へ向けた活動



2024年
9月27日

1 岐阜信用金庫 × 南ひだ森林組合 × 株式会社バイウィル
J-クレジットを活用したカーボンニュートラルと次世代に豊かな森林の承継を目指す連携協定
森林J-クレジットの創出に向けた取組みを開始



2025年
10月

約4,000t分の森林J-クレジットが初めて認証される
森林J-クレジット第1弾 販売開始

2025年
12月18日

2 南ひだ森林組合 × 株式会社バイウィル × 購入企業
岐阜県創出の森林 J-クレジットに関する連携協定発表式



2026年
1月末

第1弾(約4,000t分の森林J-クレジット)の販売が完了

2026年
3月10日

21世紀金融行動原則「2025年度特別賞運営委員長賞」受賞
21世紀金融行動原則とは、持続可能な社会を構築していくための金融機関の行動指針です。当金庫は、「脱炭素経営と自然価値創出とを結びつけた『地域循環共生圏の構築』及び地域課題の解決支援」が評価され、受賞しました。



環境省
出向者
コメント



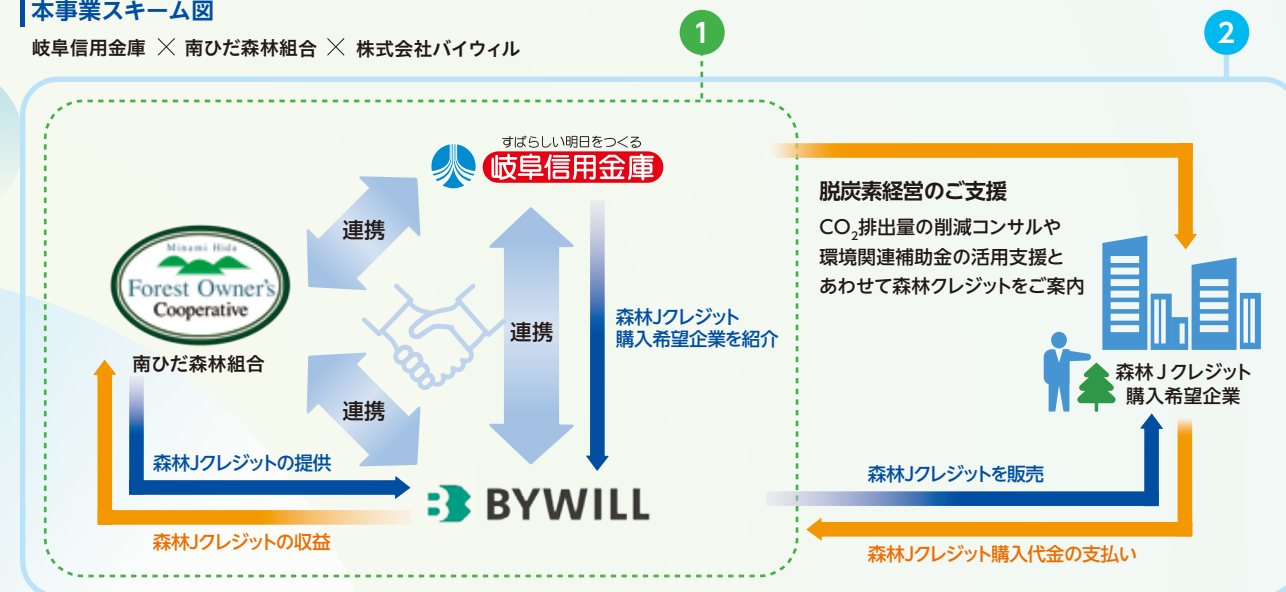
ソリューション営業部 細野 拓也

Comment

環境省では、主に地域金融機関が地域課題解決に取り組むにあたってのスキーム構築支援や中小企業の設備投資補助金、利子補給事業を担当しています。当金庫の森林J-クレジット事業は2050年カーボンニュートラル達成に向けて、また地域課題の解決という点において環境省内でも注目度が高い取り組みです。今後も地域課題解決、ひいては地元中小企業の健全な発展のサポートに引き続き寄与していきます。

本事業スキーム図

岐阜信用金庫 × 南ひだ森林組合 × 株式会社バイウィル



03 資源リサイクルへの取り組み

本スキームでの取り組みは、
全国金融機関初！

ペットボトルキャップリサイクル

岐阜信用金庫 × 株式会社スーパーメイト

2026年2月より、「みんなでいっしょに！SDGs ボトルキャップリサイクル」を開始しました。当金庫お取引先である、株式会社スーパーメイト様が製造する、ペットボトルキャップ回収器「SEVEN GOALS」を当金庫本部ビル、G's Dreamに設置し、2026年7月末までにペットボトルキャップ5万個の回収を目標に掲げました。



リサイクルポスター



職員の自主的な参加意識の醸成に向けて、進捗状況や部店ごとの取り組み事例を定期的に発信することで、本部ビル役職員だけでなく、営業店職員や子会社役職員も積極的に本取り組みに参加した結果、目標をはるかに上回るペースでペットボトルキャップが集まり、早期に目標である5万個を達成しました。

回収したペットボトルキャップは、原材料の30%にキャップを再利用した「ボトルキャップバスケット」へリサイクルされます。また、「ボトルキャップバスケット」の売上の一部は、JCV(認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会)に寄付されます。

ペットボトルキャップのリサイクルの流れ



目標である
5万個を
達成！



制服リサイクル

岐阜信用金庫 × 株式会社サンユニフォーム

働き方改革の一環として職員が働きやすい職場環境作りを推進し、業務効率の向上等を図るため、2026年4月、女性職員の制服廃止および、オフィスカジュアルを実施しました。

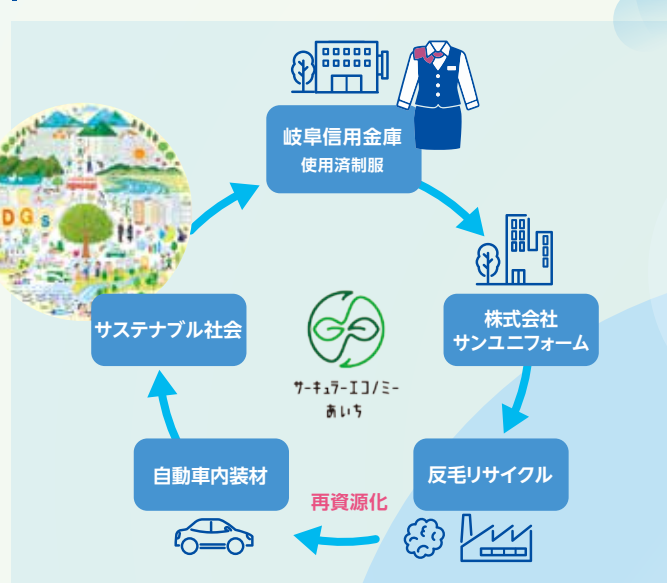
大量に発生した不要制服は、環境保護および資源循環の観点から、当金庫とSDGsパートナーである愛知県が実施する「あいちサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチーム」(繊維・衣類循環利用モデル)で生まれた事業スキームを利用し、自動車内装材等に使用される反毛に資源リサイクルしました。

取り組みにあたり、あいちサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチームの参画事業者である、株式会社サンユニフォーム様と連携しました。



再資源化完了証明書

あいちサーキュラーエコノミー推進プラン(繊維・衣類循環利用モデル)

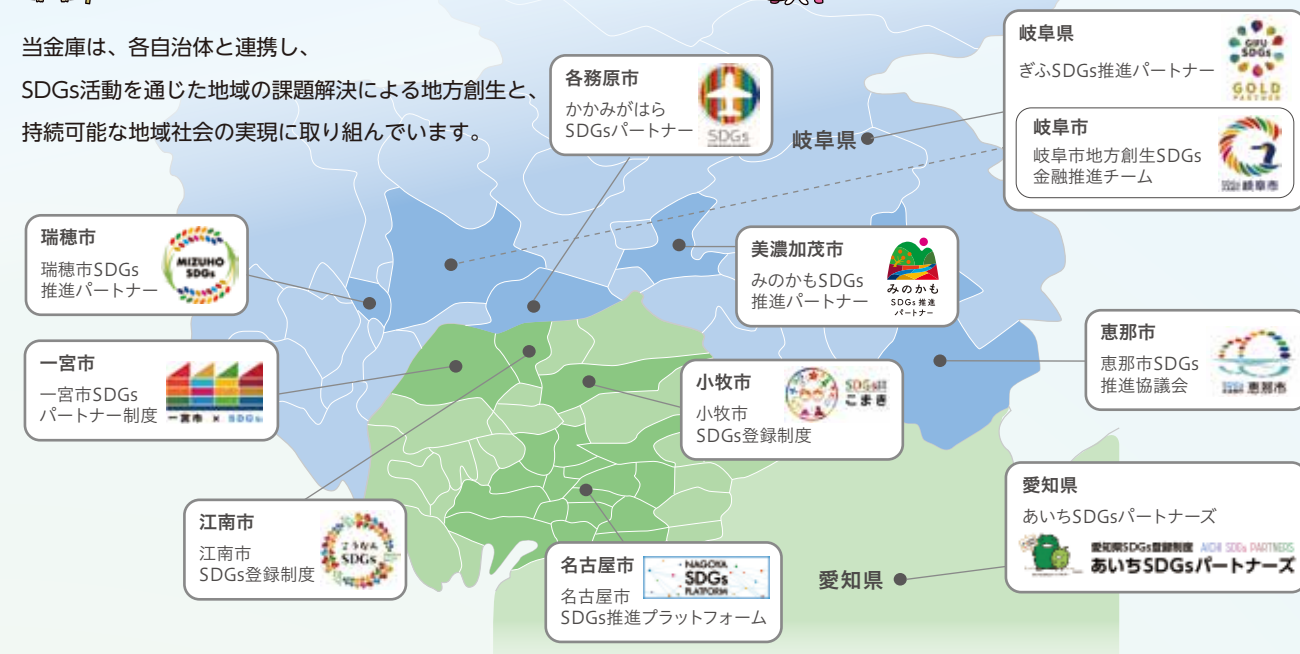


SDGsへの取り組み



当金庫は、各自治体と連携し、

SDGs活動を通じた地域の課題解決による地方創生と、持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。



小牧市主催「こまきこども未来大学」への参加

岐阜信用金庫 × 小牧市



2025年8月7日、小牧市内在住の小学生が、人生における様々なライフイベントで、どれくらいのお金が必要になるのかをボードゲームを通じて学びました。



江南市主催「なつやすみ!こうなん未来ラボ」への参加

岐阜信用金庫 × 江南市



2025年8月23日、第一部では、「ハグレ」アート貯金箱と題し、貯金箱作りを行いました。キャッシュレス化が進む中で、普段手にする機会が減った「お金」を使う・貯めることへの興味を引き出すことを目的とし取り組みました。第二部では、「お金×SDGs」をテーマとしたクイズに答え、ビンゴを目指しながら「お金」と「SDGs」について学びました。



岐阜県主催「ぎふSDGsフェスティバル2025」への参加

岐阜信用金庫 × 岐阜県



岐阜県では、SDGsの普及啓発を図る集中期間として2025年11月から3か月間「ぎふSDGsフェスティバル2025」を開催しました。当金庫も本フェスティバルに参加し、11月5日から16日までの12日間、SDGsに関する様々なイベント、セミナーを実施しました。



恵那市SDGs推進協議会主催「えなSDGsフェスタ」への参加

岐阜信用金庫 × 恵那市

2026年1月25日、「えなSDGsフェスタ」に参加し、「クイズで学ぼう! お金×SDGs」を実施し、30名の方にご参加いただきました。





ぎふしんの社会貢献活動の取り組み



当金庫は、地域経済活性化への貢献と地方創生の実現を掲げ、事業活動や地域のお客さまとのイベント活動に取り組んでいます。

地域の
お客さまとの
イベント活動



4月5日
第53回 道三まつり 参加

5月8日
ぎふしんプレミアム
チャリティーコンサート2025
ヴァイオリン／古澤 巖
ピアノ／金益 研二



6月7日
第28回 ぎふしんグリーン作戦

6月14日
ぎふしんプレゼンツ
「アクア・トぎふ 貸切水族館」
～水辺の環境を楽しく学ぼう～
主催：(公財)ぎふしん記念財団



10月5日
第5回 ぎふしん杯
こども将棋岐王戦



10月11日
柳ヶ瀬グラッスル35
第3回 ストリートピアノコンテスト



11月22日
中日新聞少年野球教室



11月16日
ぎふしんウィメンズラン2025



2月
神田町殿町線「枝垂れ梅」植樹(寄贈)
3月
伊奈波通り「枝垂れ桜」植樹(寄贈)
主催：(公財)ぎふしん記念財団



2月17日
令和7年度
岐阜市芸術文化奨励賞
主催：(公財)ぎふしん記念財団



3月11日
「ぎふしん梅街道」
ネーミングライツ取得

2025 4月 5月 6月 8月 9月 10月 11月 12月 2026 1月 2月 3月

ぎふしん Dream での
イベント活動



4月3日
オープニングイベント



地域文化振興
5月18日
鵜飼イベント
「アユを知ろう!!」



女性経営者交流会



事業者の交流機会創出
8月2日、10月11日、3月7日
経営者交流会



防災拠点としての役割
9月21日
防災食作り



事業者支援
10月17日
AIを活用した最新採用
ノウハウセミナー



防災拠点としての役割
12月6日
防災・減災教室



事業者支援
2月27日
ハラスメント対策セミナー



子育て世代の交流機会創出
5月4日、10月18日、12月21日
ハイハイレース



卓球部



野球部

当金庫 野球部卓球部の紹介
6月15日、2月1、8日
ぎふしん部活動イベント
ぎふしんスポフェス



教育機会の創出
11月23日
第1回 ぎふしん高校生ビジネスプラン
グランプリ



創業者支援
1月10、17、24、31日、2月7日(5回のプログラム)
ぎふしんの創業支援スクール



高付加価値営業の実践

当金庫は、お客さまの立場に立って考えた課題解決型営業の実現に取り組むため、お客さまに感謝される接点を強化し、地域に必要とされる事業体制を深化させていきます。



コンサルティング機能

ソリューション支援

▶ 経営相談・成長分野進出支援の取り組み

当金庫では、長年にわたり築き上げてきた地域のお取引先企業様とのリレーションを基盤に、お取引先企業様が抱える顕在化・潜在化している課題を確認し、共有するように努めています。こうした課題の解決に向けて、外部の専門家や関係機関と連携しながら、お取引先企業様のライフステージに応じた、幅広い分野にわたる最適なソリューションを提案しています。

▶ 経営相談への取り組み (2025年度実績)

創業	254件	DX化	299件
脱炭素化	400件	海外展開	440件
SDGs	210件	不動産関連	290件
補助金	139件	事業承継・M&A	729件
人材関連	346件	その他	1,581件
ビジネスマッチング	1,089件	合計	5,777件

▶ 事業承継・M&Aへの取り組み

当金庫は、お取引先企業様の事業承継課題の解決に取り組んでいます。経営者の方々や膝を突き合わせて、事業承継に対する考えや気持ちを丁寧にお伺いし、「親族内承継」「従業員承継」「M&A」など、ご要望に応じた最適な承継手法をご提案し、当金庫提携先企業と連携したサポートを行っています。

2025年度は、成長戦略を実現させるための第三者承継(M&A)支援にも取り組み、多様化する承継ニーズに応える取り組みを進めています。



▶ ESG地域金融

当金庫は、地域のESG(環境・社会・ガバナンス)に関する社会課題の解決につながる事業の支援を通して「持続可能な社会の実現」を目指し、サステナブルファイナンスや寄付型私募債等にてESG金融に積極的に取り組んでいます。

- **ぎふしんPIF**とは、お取引先企業様の企業活動において「環境・社会・経済」に与える影響を当金庫が、分析、評価し、お取引先企業様のSDGsへの取り組みを継続的に支援することを目的とした融資です。
- **ぎふしんSLL**とは、当金庫のオリジナルモデルとしてCO₂排出量に着目し、お取引先企業様が野心的に設定した削減目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット:SPT)を達成することを促し、脱炭素化を推進することを目的とした融資です。
- **ぎふしんSDGs私募債**とは、発行企業様とともに、SDGsの普及に貢献する活動を行っていくことを目的とした商品であり、目的に応じて、地域の教育機関、地方公共団体等に当金庫より寄付を行うものです。

▶ 2025年度実績

ぎふしんポジティブ・インパクト・ファイナンス(ぎふしんPIF)	28社
ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン(ぎふしんSLL)	1社
ぎふしんSDGs私募債	38件



海外業務サポート

当金庫は、多様化する海外ビジネスニーズに対応するため、セミナーと個別相談にてサポートしています。

▶ ぎふしん海外展開セミナー

■ 海外市場の魅力と海外販路開拓の進め方／4月25日実施



■ 海外展開における効果的なSNS活用／10月21日実施



▶ 個別相談会

独立行政法人中小企業基盤整備機構、公益財団法人岐阜県産業経済振興センター、ジェトロ岐阜より専門家をお招きし、2025年度は6回の個別相談会を開催いたしました。
日程／5月27日、7月15、24日、9月16日、12月18日、2月19日



▶ バンコク駐在員事務所

2025年12月、バンコク駐在員事務所は開設10周年を迎えました。今後も、お取引先企業様の海外進出・展開等をサポートしていきます。



融資業務

▶ 事業再生支援への取り組み | 事業計画策定と金融支援の一体実行により事業再生を図った事例 |

当金庫ではお取引先企業様ごとに経営課題を的確に把握し、取り得る選択肢が多い早期の段階から最適なソリューションを提案・実行支援することで、課題解決に資する事業再生支援に取り組んでいます。

プラスチック製品製造業を営むA社は、コロナ禍の影響を強く受け、2020年度より赤字決算が続き、借入金も増加基調にありました。A社の事業再生を図るべく、当社のビジネスモデルと現状の課題、今後の方向性についてヒアリングを重ね、エンハンスローン(※)による事業計画の策定・既存借入金の長期返済へのリファイナンスを実施しました。計数計画やアクションプランの策定により、当社の進むべき方向性が確立され黒字化を達成しました。さらに、アクションプランの実行の中で従業員の意識改革にもつながり、幹部候補の育成も進んでいます。

当金庫は、これからもお取引先企業様の経営課題を共有し、その解決に向けた伴走支援を通じて、地元中小企業の健全な発展と地域経済の活性化へ取り組んでいます。 ※エンハンスローンとは…事業計画の策定と伴走支援を通じ、経営課題の解決に資する最適なソリューションを提供する融資商品です。



▶ 経営者保証に関するガイドラインへの取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お取引先企業様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お取引先企業様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

▶ 2025年度実績

新規無保証融資	5,294件	44.83% ※
保証契約解除	425件	
保証債務整理	7件	

※新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合



ビジネスマッチング

▶ 第4回えんむすBA

2025年8月4日から8日までの5日間、Big Advanceの開発・運営元である株式会社ココベリが主催する「第4回えんむすBA」に、協力金融機関として参加しました。今回は東海・北陸・甲信越地方の企業を中心に開催し、5日間で1,000件以上の商談が生まれ、国内最大級の商談会イベントとなりました。当金庫からもバイヤー企業およびサプライヤー企業への参加を呼びかけ、127件の商談が生まれました。

今後も、お客さまの販路開拓支援に取り組んでいきます。



▶ 第20回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2025

2025年10月10日、ポートメッセなごや第3展示館にて、東海4県下の信用金庫のお取引先企業様が、自慢の商品、技術、情報、知恵を持ち寄って、展示・PRを行う、「第20回しんきんビジネスマッチングビジネスフェア2025」が開催されました。当金庫からは82ものお取引先企業様（バイヤー参加含む）が出展し、出展者同士だけでなく、出展者ご来場された企業との商談会などが実施され、新たなビジネスチャンスをつかむ契機となりました。

▶ 第10回売り込みビジネス商談会

2025年11月19日、お取引先企業様の販路拡大と売上増加を目的に、岐阜商工会議所と共同で「第10回売り込みビジネス商談会」を開催しました。岐阜・愛知県内の企業を中心にビジネスマッチングの場を提供し、商談会にはバイヤー15社、サプライヤー35社がエントリーし、約90件の商談が実現しました。当金庫はこれからも地域社会の一員として、地元中小企業の健全な発展を力強くサポートしていきます。



▶ ぎふしんPitch 2026

2026年3月10日、地元中小企業の健全な発展のサポートの一環として、「STATION Ai」3階イベントスペースにて、「ぎふしん Pitch 2026」を開催しました。当金庫初のピッチイベントとして「ぎふしん青年重役会」の会員企業様向けに、当金庫が選定した最新の技術やサービスを提供するスタートアップ企業6社にご登壇いただき、産業の高度化・人材育成・業務効率化などの社会課題解決に向けた取り組みを共有し、自社にない新たなサービスを発掘できる機会を提供しました。



連携

岐阜信用金庫 × 笠松町 × 笠松町商工会

▶ 「地域経済の活性化に向けた 包括連携協定」

2026年2月18日、笠松町の持続可能な地域経済の発展を目的に、笠松町、笠松町商工会と、「地域経済の活性化に向けた包括連携協定」を締結しました。

三者が相互に連携し、笠松町内事業者の地域経済の活性化に向けた中小企業支援、事業者間ネットワーク拡大による地域経済基盤の強化、青少年の健全育成と自立支援につながる教育を行い、笠松町の地域経済の活性化に向けて取り組んでいきます。



岐阜信用金庫 × 岐阜市公立大学法人（岐阜薬科大学）

▶ 「産学連携の協力並びに SDGsの推進に係る協定」

2026年5月21日、地域を中心とした産学連携の協力並びにSDGsの推進のため、岐阜市公立大学法人（岐阜薬科大学）と協定を締結しました。

今後も、お取引先企業様と同大学との橋渡しを行い、産学連携を通じた地域社会への貢献とSDGsの推進に寄与していきます。



愛知戦略事業室

愛知戦略事業室は2026年4月、名古屋市を中心とした愛知県エリアにおいて、優良中堅企業の創造と法人顧客基盤の拡充を目的に新設されました。お客さまの成長ステージに応じた最適なソリューション提案を通じ、資金調達支援・事業承継支援・脱炭素経営支援・人材支援など多様な経営課題の解決を支援します。また、自治体や経済団体、外部機関との連携を強化し、地域経済の活性化と新たな価値創造に貢献するとともに、愛知県エリアにおける当金庫のプレゼンス向上に取り組んでいきます。



ブランドパートナーとは、名古屋市のブランドコンセプト「やさしい大都市」を理解・共感し、名古屋の魅力や価値を創出・発信する企業や団体として登録する制度です。



経営管理・リスク管理

当金庫は、お客さま・地域から信頼される金融機関となるために、ぎふしんグループ全体で、誠実に行動するためのコンプライアンス（法令等遵守）の実践やリスク管理の高度化を図っています。



経営管理(ガバナンス)の基本的な考え方

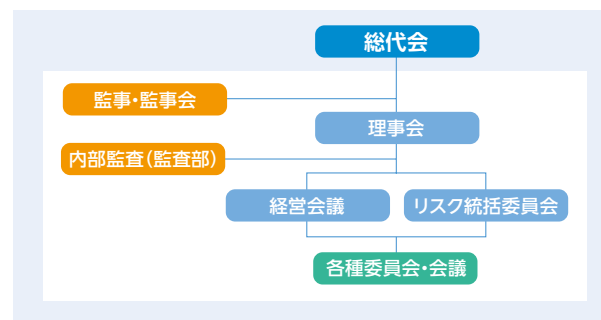
当金庫では、法令等遵守や各種リスクの的確な管理などの内部管理能力を高め、監査機能の発揮により、適切な経営管理(ガバナンス)を実施し、適時適切なディスクロージャーにより経営の透明性を高めていくことが、ステークホルダーである出資者やお客さまの信頼・満足度を向上させるとともに、地域社会への貢献、地域における存在意義の向上につながるものと考えています。

こうした考え方に基づき、当金庫は、協同組織金融機関としてのガバナンスの向上を図るため、「経営理念」「10年後ビジョン」を定め、総代会、理事会、監事会等による経営のチェック機能を活かし、健全かつ効率的な経営および意思決定の迅速化等に努めています。

内部管理態勢の整備

当金庫および子会社の業務の健全性および適切性を確保し、内部管理態勢の充実、強化を図るため、理事および職員ならびに子会社の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制、理事の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制、当金庫および子会社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制をはじめとする11項目の体制整備に係る方針を「内部管理基本方針」として理事会で決議し、内部管理態勢の整備に取り組んでいます。

■ 経営管理体制



リスク管理態勢の充実

国際化の進展や金融技術・情報技術の進歩、お客さまニーズの高度化などに伴い、金融機関が直面しているリスクは多様化・複雑化しており、リスク管理の重要性はますます高まっています。当金庫では、経営の健全性の維持・向上の観点から、リスク管理を経営の最重要課題の一つと位置付け、リスクを統合的に管理するリスク統括部を設置し、様々なリスクに対応したリスク管理方針・規程等を整備して、地域に根ざした金融システムの担い手として健全で収益力の高い経営の実現を目指しています。

統合的リスク管理

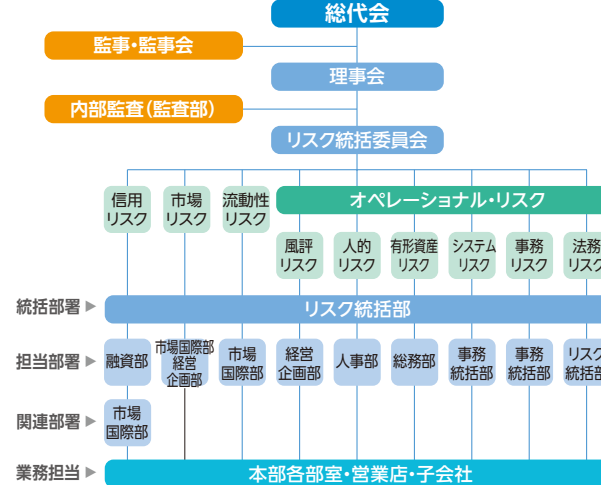
統合的リスク管理とは、直面するリスクに関して、それぞれのリスクカテゴリー毎に評価したリスクを総体的に捉え、経営体力(自己資本)と比較・対照することによって自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当金庫では、リスク管理の高度化を目指して、各々のリスクを個別に管理するだけでなく、可能な限りVaR(バリュー・アット・リスク)などの統一的手法でリスクを計測しています。また、それらを統合的に把握したうえで、経営体力に見合ったリスク制御により経営の健全性および業務の適切性の確保に努めています。

具体的には、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスクについて資本配賦を実施し、リスク量を自己資本の一定範囲にコントロールするとともに、バンキング勘定における金利リスク、与信集中リスクおよび信用部門、市場部門のストレス事象についても自己資本対比で評価しています。

また、統合的リスク管理の統括部署としてリスク統括部を設置し、統合的リスク管理の状況や各リスクの状況をリスク統括委員会、理事会へ報告する体制を整備しています。

■ リスク管理体制



コンプライアンス

当金庫では、コンプライアンスを当金庫および当金庫の子会社の経営の最重要課題の一つとして位置付け、諸規程の整備、臨店指導、各種研修などを通じて、職員の指導・教育に取り組み、コンプライアンスマインドの向上に努めています。

2026年度のコンプライアンス・プログラム

重点施策①／「コンダクト・リスク」の役職員の理解と役割に応じた実践

重点施策②／職員一人ひとりの自律的な考動を促す職場環境の実現

コンプライアンス態勢強化への取り組み

当金庫は、企業倫理の確立とコンプライアンス態勢の充実、強化を図るため、法令等遵守方針、法令等遵守規程を定め、強固な運営体制を構築しています。

管理体制面では、リスク統括部をコンプライアンスの統括部署とし、コンプライアンス態勢に係る企画、立案、推進を行っています。

また、本部各部室、営業店、マネーコンサルティングセンターには、コンプライアンス担当者を配置し、所属職員に対するコンプライアンスに係る啓蒙・指導・検証を行っています。

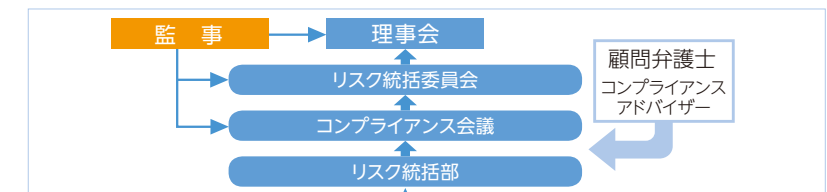
運営面では、コンプライアンスを実現するための具体的な実践計画書として、年度ごとに策定しているコンプライアンス・プログラムに沿って、規程等の整備、コンプライアンスに係る職員への研修・啓蒙活動を行い、役職員の意識向上および法令等遵守態勢の構築に向け取り組んでいます。

■ 法令等遵守方針

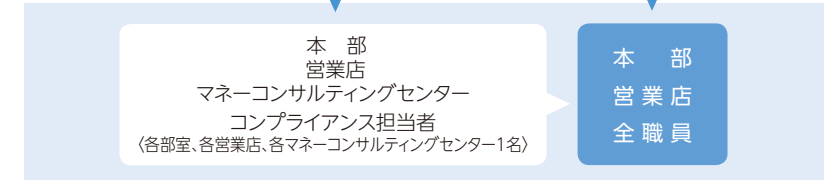
1. 法令等遵守態勢の整備
2. 行動綱領、規程等の整備
3. 法令等遵守を実践する企業風土の醸成
4. 法令等遵守に関するモニタリング
5. コンプライアンス運用状況の報告体制
6. 反社会的勢力への対応

■ コンプライアンス体制

組織的な体制 ▼



日常の運営体制 ▼



コンダクト・リスクへの取り組み

当金庫は、地域金融機関として、昨今のお客さまや地域社会からの期待が刻々と変化する環境の中で、必ずしも明文化されていない社会規範等から逸脱することで生じるリスク(コンダクト・リスク)を適切に管理し、健全な企業文化を醸成していくことが重要であると考えています。

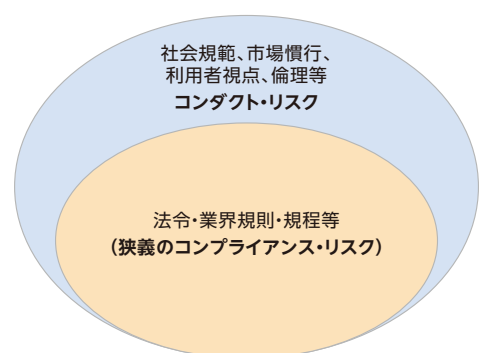
コンプライアンスの遵守はもとより、お客さまや地域社会からの期待に応えられるよう、当金庫におけるコンダクト・リスクを定義し、適切なコンダクト・リスク管理に取り組んでいます。

当金庫の役職員の一人ひとりが、経営理念の実現に向けて高い倫理観を持って業務に取り組むとともに、単なる法令等遵守に留まらない、社会規範やお客さまの視点を踏まえた正しい判断・行動を自律的に実践することで、健全な企業文化を醸成し、地域社会の発展に貢献していきます。

岐阜信用金庫におけるコンダクト・リスク ▼

当金庫の経営理念の実現を阻害する行為、お客さまや地域社会からの期待に反する行為(社会規範に悖る行為、お客さま目線の欠如した行為など)により、お客さまや地域社会からの信頼を損ね、当金庫の企業価値を毀損させるリスク。

○ + ○ = (広義の)コンプライアンス・リスク



マネー・ローndリング等への対応

マネー・ローndリングおよびテロ資金供与対策方針

当金庫は、マネー・ローndリングおよびテロ資金供与・拡散金融(以下、「マネロン・テロ資金供与」といいます。)の防止に向け、適用される関係法令等を遵守し、業務の適切性を確保すべく、基本方針を次のとおり定め、管理態勢を整備します。

1. 運営方針

当金庫および当金庫グループ会社は、マネロン・テロ資金供与の防止を経営上の最も重要な課題の一つとして位置づけ、マネロン・テロ資金供与の脅威に対し、組織として適切に対応できる管理態勢を構築します。

2. 管理態勢

当金庫におけるマネロン・テロ資金供与対策の統括部署を定め、関係部署および営業店等と連携を図り、組織横断的にマネロン・テロ資金供与対策に取り組みます。

3. リスクベース・アプローチ

リスクベース・アプローチの考え方に基づき、当金庫が直面しているマネロン・テロ資金供与に関するリスクを特定・評価し、リスクに応じた低減措置を講じます。

4. 顧客の管理方針

適切な取引時確認を実施し、顧客や取引のリスクに即した対応策を実施する態勢を整備します。また、定期的な情報収集、取引時の記録等から取引実態等を定期的に調査・分析することで、継続的な顧客管理による対応策の見直しを図ります。

5. 疑わしい取引の届出

営業店からの報告や取引モニタリングシステムによる検知、捜査機関等からの照会等を受け、疑わしい取引を検知したときは、その内容を調査し、疑わしい取引に該当すると判断した場合は直ちに当局に届出を行います。

6. 経済制裁および資産凍結

取引フィルタリングシステム等により制裁対象者との取引を検知し、調査の結果、制裁対象に該当すると判断した場合は、当該取引を謝絶するとともに、資産凍結等の措置を適切に実施します。

7. 役職員の研修

継続的な研修を通じて、役職員のマネロン・テロ資金供与に対する知識・理解を深め、役割に応じた専門性・適合性等を有する役職員の確保・育成に努めます。

お客さまからのご相談・苦情・紛争等の対応

1. 当金庫は、お客さまからのご相談・苦情を営業店またはお客さま相談所で受付けています。

岐阜信用金庫
お客さま相談所

- ご相談・苦情
電話/058-265-1151 当金庫ホームページ/「お客さまの声」
- 個人情報に関するお問合せ
電話/058-265-1151 当金庫ホームページ/「お客さまの声」
- 金融円滑化ホットライン
電話/0120-668-033(直通)

[受付] 月～金(祝日、12/31～1/3を除く) 9時～17時
〒500-8562 岐阜市神田町5丁目1番地1

※お客さまの個人情報は、ご相談・苦情の解決を図るため、またお客さまとのお取引を適切かつ円滑に行うためにのみ利用します。

2. お客さまからご相談・苦情のお申し出があった場合、常に公正不偏な態度を保ち、お客さまから事情を十分伺ったうえ、お客さまの正当な権利を損なうことのないよう注意し、適切かつ迅速な処理および解決に努めます。

3. ご相談・苦情のお申し出については、記録保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、研修等を行うなど再発防止や未然防止に努めます。

4. 当金庫の間でのご相談・苦情が長期間にわたって解決されないため、公平・中立な外部機関での紛争解決をご希望されるお客さまには、金融ADR制度に則って、**全国しんきん相談所**(9時～17時、電話:**03-3517-5825**)を通じて「**東京弁護士会**(電話:**03-3581-0031**)」「**第一東京弁護士会**(電話:**03-3595-8588**)」「**第二東京弁護士会**(電話:**03-3581-2249**)」「(東京三弁護士会)を紹介しします。

なお、東京三弁護士会は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。その際には、お客さまのアクセスに便利な地域の弁護士会において、東京の弁護士会とテレビ会議システム等を用いて共同で紛争の解決を図る方法(現地調停)、地元弁護士会に紛争を移管し解決する方法(移管調停)もあります。くわしくは、東京三弁護士会、当金庫お客さま相談所もしくは全国しんきん相談所にお問合わせください。

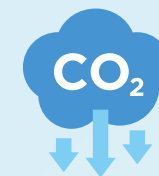
また、証券業務に関する外部機関での苦情受付・紛争解決をご希望される方には、**ADR FINMAC(証券・金融商品あっせん相談センター)**、電話:**0120-64-5005**を紹介しします。

非財務ハイライト (2026年3月31日現在)

環境 Environment

CO₂排出量の削減

目標 2030年度までに2013年度比 50%以上削減



4,900 t-CO₂
(2013年度比 ▲36.0%)
※2024年度数値

サステナブルファイナンス実行金額(累計)

目標 2030年度までに 5,000億円
うち、環境分野関連 2,500億円



3,774 億円
うち環境分野関連
1,172 億円

社会 Social

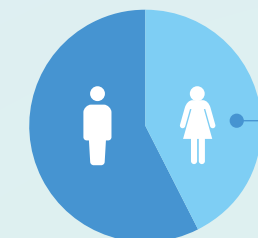
育児休業取得率

目標 2028年度までに男性育児休業取得率 50%以上
2028年度までに女性育児休業取得率 90%以上



男性 92.6 %
女性 112.5 %

労働者に占める女性労働者の割合



42.7 %

ガバナンス Governance

女性管理職の人数



71 人
※代理職以上

女性管理職比率の推移

目標 2028年度までに
代理職を含めた女性管理職比率を 15%以上



外部評価 External Recognition

プラチナくるみん



厚生労働省が実施する次世代育成支援対策推進法に基づく「プラチナくるみん」を、2026年3月3日付で認定取得しました。「プラチナくるみん」は、仕事と子育ての両立支援に積極的な企業を公式に認定する「くるみん」の上位認定版であり、岐阜県下で9社目、県内金融機関では初となります。

健康経営優良法人2026(大規模法人部門)



健康経営優良法人認定制度は、職員の健康管理や健康増進の取り組みについて特に優良と認められる法人を認定する制度であり、3年連続での取得となりました。